

2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
音楽基礎 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	野瀬 充弘			実務経験	有	職種	作編曲家・サウンドクリエイター				
担当教員紹介											
担当教員は国立音大大学院を卒業し、作編曲家・音効選曲・サウンドクリエイターとしてTBSテレビ・ニュース番組の音楽制作をはじめファッション・メイクショーのステージ音楽、企業の社歌作編曲など多方面の音楽制作キャリアを持つ。幅広い音楽知識と実践経験をもとに、音楽業界において必要な知識を包括的に教える授業を展開している。											
授業概要											
音楽エンタテインメント業界に携わる人間にとって、音楽の知識や学術的な側面、基礎理論を知る事は、仕事の質を向上させられるだけでなく、業界人としての教養という観点から見ても大切な要素であり、分野によっては就職試験に直結する場合もある。座学的内容に半実習的な部分を織り交ぜながら習得していく。											
到達目標											
本科目での到達目標は音楽・音響の仕事についた時、そして職種によってはその採用試験対策として必要な音楽の基礎知識およびコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面に関する知識を習得し、それらを読み使うことができること。楽典的知識および音楽用語、楽器に関する知識、音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ること。											
授業方法											
毎授業のテーマに沿って説明・実演しながら板書。各自わかりやすいようにノートをとってもらう。譜面に関する知識習得や慣れを目的としてヒアリングやリーディングの実習的取り組みも行っていく。各学期末に試験を実施する。											
成績評価方法											
試験・課題【50%】 試験と課題を総合的に評価する 平常点【50%】 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
前週の内容を再確認し、翌週の授業に臨むこと。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎授業のテーマについて必要に応じてプリント・レジュメを配布。また板書および説明事項をノートとしてまとめていく事により「自分自身の教科書」を作することを推奨する。											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション 前期の復習と確認（小テスト）										
第2回	インターバル・コード・調性についての再確認										
第3回	コードに対する考え方① ダイアトニックコードとディクリー標記について										
第4回	コードに対する考え方② コードの機能とケーデンスについて										
第5回	楽曲におけるコードテクスチャー① 部分転調という概念										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
音楽基礎 2	
第6回	楽曲におけるコードテクスチャー② 近親調におけるダイアトニックコード
第7回	楽曲におけるコードテクスチャー③ モーダルインターチェンジ他のテクニック
第8回	楽器について① アコースティック楽器
第9回	楽器について② エレクトリック楽器
第10回	音楽のジャンルと作品分析① C l a s s i c ジャンル
第11回	音楽のジャンルと作品分析② J A Z Z ジャンル
第12回	音楽のジャンルと作品分析③ R o c k ジャンル
第13回	日本の商業音楽について
第14回	音響技術の変遷と音楽の歴史
第15回	復習確認と試験説明 総合的な復習と期末試験準備